

被爆75周年原水爆禁止世界大会・長崎大会へのメッセージ



「被爆75周年原水爆禁止世界大会・長崎大会」が開催されるにあたり、被爆県の知事として、メッセージをお送りします。

皆様には、日頃から核兵器廃絶と世界恒久平和実現のため、ご尽力いただいておりますことに、深く敬意を表し、感謝を申し上げます。

今年はNPT発効後、50年を迎える節目の年です。改めてこの条約の重要性を再認識し、堅固な核軍縮・不拡散態勢を構築することが求められています。

しかしながら、昨年のINF条約の失効に続き、来年2月には米ロ間の新戦略兵器削減条約(新START)が期限を迎えます。その延長についてはいまだ予断を許さない状況であり、新たな核軍拡競争の恐れが高まることを懸念しております。

このような中、今大会がここ長崎で開催されますことは、大変意義深いことと存じます。本県といたしましても、今年が被爆75年という節目の年であり、これまで以上に「長崎を最後の被爆地に」という強い思いをもって、一日も早い核兵器廃絶と世界恒久平和実現に向けて取り組んでまいりますので、引き続き皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、本大会のご成功と、本日お集まりの皆様方の今後益々のご健勝、ご活躍を心からお祈り申し上げ、ごあいさついたします。

令和2年8月7日

長崎県知事 中村 法道